

くめなん ギカイ

News from Kumenan Town Council No. 89

久米南町議会だより 令和7年3月議会



一般質問

町政を問う

河原重義 P 3

1. 緊急時の初動体制の構築及びマニュアルの状況等について
2. 地域計画の策定状況及び集約内容、農業の展望及び維持の施策、中山間直接支払制度の今後の見通しについて
3. 財政健全化に向けた取り組みや計画、将来ビジョンについて

南 直樹 P 4

1. 企業誘致について
2. ふるさと納税について

近藤賢司 P 5

- ★ 1. 小学校統合後の跡地の活用について
- ★ 2. 小学校統合後の放課後の居場所について
- ★ 3. 保健・福祉施策について
- 4. 観光や体験、移住・定住など「人を呼び込む施策の充実」について
- ★ 5. デジタル活用による行政手続きについて
- ★ 6. ふるさと納税増を図る取り組みについて

立石祐一 P 6

1. やまなみ街道通行止めについて地域住民へ丁寧な説明を
- ★ 2. 全国二地域居住等促進官民連携プラットフォームへの登録と今後の計画・施策について
3. 認知症サポーター養成講座の現状と来年度計画について
- ★ 4. 久米南美しい森キャンプ場について

小坂 守 P 7

- ★ 1. 小中学生の体力について
- ★ 2. 町内のイベントについて
- 3. 健康寿命を延ばす取り組みについて
- 4. ワクチン接種と集団検診について

政広幹夫 P 8

- ★ 1. 物価高騰で困窮する町民に寄り添う町の経済対策を
- ★ 2. 町の事務に町民の安心と納得を得る努力を求める
- ★ 3. 一人暮らしの高齢者の不安を軽減する緊急時通報策の構築を
- 4. 町民の願いに応えながら町の課題にも対応できる小学校施設の利活用を

※ 議会だよりに掲載できなかった質問は★で表記しています。
※ 質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。

質問 町政の諸課題について



河原重義 議員

一般質問

緊急時の初動体制について

問 第6次久米南町振興計画にあげている防災力を高めるための目標設定と様々な災害時の危機管理について。

想定外で対応が遅れた、では、住民が安心できない。平素より、発災時の初動対応が取れる様にしておかねばならない。

本年1月の庁舎裏で発生した火災事案の初期対応について聞く。

総務企画課長 電気事故による火災であった。職員数名による放水活動により、直ぐに鎮火した。この事故により、一時受電できなくなり、停電が生じ、

一部の業務ができなくなり、来庁者に迷惑をかけた。非常用発電も備えていたが、消火栓を使用したことにより、非常用電源が使用できなかった。今後、当該復旧の対応について周知徹底をしていきたい。

問 今後、しっかり対応すること。

全国各地での大規模な山林火

災を教訓として、発災時の初期対応が重要であり、常日頃の危機管理意識が大切だ。また、自主防災組織に対しても、初期対応能力向上のための訓練の推進、指導も必要だ。このことについて、町長の所感を伺う。

町長 災害で、想定外の事態が発生した際には、「マニュアル通りにやらなくてよい」というのが首長の仕事。その中で、

先頭を切って対応に当たる覚悟だ。

問 今一度マニュアル等の確認をしてもらいたい。

農業、農地の地域計画について

問 町内の農業組織から地域計画も順次提出されてきていると思う。その内容はこういったものだったか。

産業振興課長 32の集落から

提出された。現在、利害関係者からの意見徴収を行っているところだ。意向調査の結果を基礎データとして、10年後の目標地

図の作成にあたり、ある程度の農地については、現状維持や担い手への集積という回答であった。検討中との回答も多かった。

問 農業経営者も高齢化しており、担い手もない。そんな方を多く見受ける。中山間直接払い制度からも、抜けようかと考えている方もいる。農業の持続と維持の対策が急務だ。

産業振興課長 今後は、農地中間管理機構を通した貸し借りとなる。

問 中間管理機構の位置づけが大きくなる。荒廃地を少なくするためにも対応いただきたい。

財政健全化について

問 多額の費用を要する事業が重なっている。財政再建団体にならないようにビジョンを持つておかねばならない。

町長 経費負担の適正化、行政効率の適正化と向上に努める。

質問

企業誘致とふるさと納税について



南 直樹 議員

一般質問

企業誘致について

問 津山圏域定住自立圏6市町村は、企業誘致の受け皿となる産業団地が不足しているとして、県に要望書を提出した。現在の状況、過去の実績をどのように評価しているか。

産業振興課長 津山圏域内の公的産業工業団地は、3区画を除き立地済みで、企業誘致が行えない状況にあり、県に対し要望を行った。

過去に上弓削地区に県営の工業団地2区画を整備、立地済みで、町民の雇用創出に繋がっている。ここ数年、企業誘致実績は無く、既立地企業の撤退もあり、今後は既存企業への支援、創業や雇用の拡大に取組み、新たな働き方の対応を進め、働く場の創出と確保を推進する必要がある。

問 誘致が進みにくい要因、他自治体との競争で不利な点は。

産業振興課長 本町は比較的条件の良い位置にあると認識し

ているが、企業誘致を行うには、適地が少ないと感じている。

他市町村や関係機関との広域的な連携に努めたいと考えている。

問 新たな施策やターゲットを絞った誘致戦略を進める考えがあるか。

産業振興課長 現時点で行っていないが、今後検討が必要になると認識している。

問 小学校の跡地利活用で企業誘致の考えがあるか。

総務企画課長 選択肢のひとつ。文部科学省が行っている事業に乗るのもひとつの案と思う。事業者から希望があり、地域住民のご理解が得られればと考える。

ふるさと納税について

問 近年減少している要因について分析しているか。

産業振興課長 前年比で件数は4・6%増だが、額は10・3%減少。返礼品の上位を占めるブドウが全国的に競合している

ことが一つの要因であると認識する。

問 新たな返礼品の開発やプロモーション強化など、具体的な策を検討しているか。

産業振興課長 シャインマスカットの受付時期を早める、委託事業者が棚田を特集した記事をホームページに組み込むなど、納税額アップに取り組みたい。

問 町独自の魅力を活かした戦略があるか。

産業振興課長 体験型の返礼品について検討している。色々課題はあるが、関係・交流人口の増加、移住定住施策に結びつくと期待している。

問 ふるさと納税による町の財政への影響について伺いたい。

総務企画課長 ふるさと納税は、子育て支援事業、すこやかエンゼル祝金、新規就農応援事業費補助金などの財源に充てている。納税額により、拡充・減少が考えられる。納税額の向上に努めたいと考えている。

質問

町に人を呼び込む施策の充実について



一般質問

近藤賢司 議員

問

関係人口の増加と、人口増加施策は、本町にとって喫緊の課題であるが、久米南町の地域資源を活かしながら、この施策を充実させることについて問う。

1つ目、町内を観光していたくことで、リピーターを増やす等の関係人口の増加策について。

二つ目、観光客を勧誘するためのホームページのリニューアルやSNS発信を活発に行う施策について。

産業振興課長

1点目について、大学連携事業により、誕生寺での観光体験、下粕地区での農業体験モニターツアーを、年間を通じた農業体験を開催し継続的に関わりを持っていただいている。今後も地域、大学などと連携し、町ホームページなどでPRを行いながら、地域の方との交流を深める観光、関係人口の増加に取り組みたい。

2点目について、現在、町では観光客の誘致について、町の

「冬休み」

じよやかなね かねをついたら

へびどしだ

漆間 啓真

ホームページやSNSでのPR、岡山や津山の情報誌への掲載、岡山県観光連盟や美作国観光連盟などと連携しPRを行っている。ホームページのリニューアルについては、まずは既存の町ホームページの内容を整理し、関係機関などと連携することで、広域的な情報発信に努めたい。

問

大学連携は非常に有効な取り組み。今後も更に発展させ、盛り上げていただきたい。またホームページのリニューアルは、具体的にどう考えているか。

産業振興課長

まだ具体的なところまでは至っていない。閲覧される方に見やすい形、季節に応じたイベント情報の掲載などを考えている。

問

例えば、①ホームページやSNSで動画発信、②各種イベントを町がバックアップする体制づくり、③魅力的な観光コースやスタンプラリー等の企画、④看板や地図の新調等の取り組み、など。是非先頭に立って取

り組んでいただきたい。

問

道の駅の機能アップを図る考えはあるか。駐車場拡張については、どう取り組むのか。

産業振興課長

今年度、他の補助金事業を活用し、道の駅広場に遊具を設置した。今後も道の駅の機能アップのため、有効な事業があれば考えたい。また、道の駅の駐車場の拡張については、周辺住民の民地をご提供いただくことが前提となる。多方向から調査・研究を引き続きしていきたい。

問

今後、町と道の駅が一体となった取り組みが要請される。地域課題の解決のために、大きな拠点として発展できるように抜本的に取り組んでいただきたい。



質問

やまなみ街道の丁寧な情報提供と 認知症サポーターの現状について



立石祐一 議員

「冬休み」 おもちつき きねがおもくて びっくりりだ 島岡 真愛

やまなみ街道通行止めについて

問 地域住民への丁寧な説明実施や情報提供が必要ではないか。また今後、新たに説明会を開催する予定はあるか。

建設水道課長 説明会は開催していない。情報は、各自治会長に文書でお知らせしている。新たに説明会の予定はない。住民の皆様のご意見を踏まえながら、適切な対応を検討し、必要な措置を講じる。

問 農業、観光業、商業への影響についての調査や支援策は。

建設水道課長 具体的な支援策は講じていない。地域経済への影響を最小限に抑えるための対応が必要と認識している。

問 代替えルートの確保と交通安全対策について。

建設水道課長 他の主要道路を使用する方法について、交通量の増加が見込まれる交差点に標識案内を実施している。

問 緊急時の対応は。

建設水道課長 緊急車両や消

防車の通行に影響が生じると認識している。今後も影響を最小限に抑えるため、適切な対応策を検討する。

問 ホームページや広報紙、SNSなどを利用し、情報提供を行っているか。

建設水道課長 通行止めに関する情報は、町のホームページ、メール、LINEなどでお知らせしている。

問 情報提供しているとのことだが、ホームページを拝見しても、この看板のページのみだ。課長から説明があった内容をPDF等にして添付する等、ネットも活用し、情報提供を行ってほしい。

認知症サポーターについて

問 養成講座の実施回数が県内最低の2回と認知症施策が十分と考えるが、町としてこの状況をどのように受け止めているのか。また今後の改善策はどうなっているか。

保健福祉課長 認知症サポ

ーター養成講座については、昨年度、就実大学と連携し、53名のサポーターを登録している。認知症施策や介護予防といった施策は、基本理念の実現に向けて、優先度の高い施策のひとつであると考えている。今後は時間を分割したり、地域のサロン等を活用したりするなど、町民の方が参加しやすい方法を検討する。

問 実際に認知症の方を在宅でみている家族からすれば、地域で見守ってくれることが、いかに安心につながるかと考えた時に、久米南町の実施状況で良いとは到底思わない。本町の認知症サポーターの人口に占める割合が2・627%。これはメイト＋サポーター1人あたりの担当高齢者人口が17・1人。これは令和6年12月31日時点の全国市町村集計で、全国ワースト3位の数値。高齢化率が高い本町こそ、認知症を理解し、町民の安心につながるよう取り組んでもらいたい。

質問

本町の健康寿命対策について



小坂 守 議員

一般質問

健康寿命を延ばす取り組みについて

問 人生百年時代と言われている。フレイル予防の取り組みについて伺いたい。

保健福祉課長

フレイルとは

健康と要介護状態の中間の状態を指し、加齢による認知機能や身体機能が低下してきた状態とされている。フレイルを予防するものとして掲げる柱は、栄養、身体活動、社会参加の3つがある。当町では後期高齢者の受診状況等から誤嚥性肺炎が多いとわかり、令和4年度から健康教室のテーマを「お口の健康」として実施しており、昨年度はオーラルフレイル予防として講演会を実施している。また、本年度は津山医師会との共同実施で、フレイル予防の3つの柱の中の「栄養」に焦点を当て、フレイル予防講座モデル事業を実施している。当該事業はフレイルへの知識理解と栄養の理解、改善を目的としたプログラムで、講

演会と講座を計4回実施している。また身体活動、社会参加として「生きがいデイサービス」への参加や、各地域のサロンでの活動もフレイル予防として重要な取り組みと考えている。

問 インフルエンザ・コロナワクチン接種状況について。

保健福祉課長

インフルエン

ザワクチン接種は、昨年10月、本年1月末までに1142件、コロナワクチン接種は462件で、いずれのワクチンも65歳以上の方と、特定の疾患や障害がある60歳から64歳の方の定期接種となっている。

問 带状疱疹ワクチン接種の助成について。

保健福祉課長

本年度から50

歳以上の方を対象に接種費用の2分の1を助成している。带状疱疹ワクチンは生ワクチンと組み替えワクチンの2種類あり、生ワクチンは1回接種、組み替えワクチンは2回接種となつて

いる。助成金額の上限は生ワクチンが4千円、組み替えワクチンが1回あたり1万1千円となっている。当町での接種状況は2月末で、生ワクチン1件、組み替えワクチン59件である。当該ワクチンは来年度65歳を迎える方と、60歳から64歳で特定の障害がある方は、来年度から定期接種になる。なお、令和7年度から5年間の経過措置として、70歳から5歳刻みで100歳までの方も対象となるので、保健福祉課まで問い合わせいただきたい。

問 集団接種について。

保健福祉課長

基本健診対象

者は1368人で、受診された方が456人で、受診率が33.3%となっている。受診率向上の取り組みは、愛育委員による受診案内を全戸配布、声かけ、また受診勧奨ハガキの送付などを実施している。

「冬休み」

たこあげを

いことしたよ

そら高く

上原

夏乃

質問

3 小利活用の土台に住宅を



「冬休み」 お正月 おせちをそっと つまみぐい 久國 颯太

政廣幹夫 議員

一般質問

問 3 小学校跡地の利活用の共通土台として、「住宅」での活用を提案する。

質問だが、久米南町の人口ビジョンが2月28日に公表されて「限界集落の増加」と言っている。町の限界集落の定義、その集落数、戸数、人数をどう把握しているか。

また、自治会からの舗装などの要望を無視しているような箇所がある。町は限界集落や類する地域に、インフラ整備を制限する方針を持っているのか。

総務企画課長 限界集落の数などの資料を持ち合わせておらず、答弁は控える。

インフラの整備での制限を町の方針としてない。

問 インフラ整備に対して過疎を理由に制限を加えているのはという疑いは私が持っている。ないならよいが、色々言い訳をして、地域住民の要望をいつまでも放置しておく、そういう疑いを持たれる。

久米南町の限界集落の定義を聞きたい。

総務企画課長 町として定義を持つていないが、計画に文言を使うとなれば、国などが定義づけしたものを使っているのではないかと思われる。

資料を現在持ち合わせていないが、町として独特の定義はないという認識だ。

問 町の重要な文書に「限界集落」と、言葉だけ使ったということ、怪しげな感じだ。

しかし、この限界集落への対応に、学校施設跡地を利活用できないかということが、人口ビジョンからは見て取れる。

人口ビジョンには、限界集落の増加に対応する「久米南町の将来展望、目指すべき将来の方向」という項目があり、「拠点的地域において生活環境を確保する」とうたわれており、「人口減少や少子高齢化に地域活力や行政サービスの低下が懸念される。そこで日常生活に不可欠

な生活サービスの確保や地域の拠点機能の維持によって生活環境を確保します」と、説明している。

質問通告書に具体的に書いたが、岡山県の過疎計画や国がやっている集落の整理、「集住」は、点在する家を集めるイメージだが、そのようなことを国が政策として交付金事業もやっている。

そこから私は、学校跡地利活には住宅を組み合わせるべきと考えた。

インフラ整備が困難な地域の住民の意向を受け、学校跡地に集合住宅をつくる。

大きな建物の3小学校跡地には、地域の住民が住んでいるという共通土台があつてこそ、自治会を通じて、町民の意見も生きてくる。ぜひ研究をしていたきたい。

くめなん“ギカイ”コラム



テーマは『自治体の予算の種類』です

3月議会定例会って？

議会定例会は、通常、年4回開催され、6月、9月、12月、3月に開催されます。3月議会は、毎年開催する定例会の一つで、予算に関する議案などが審議されます。

そもそも
予算って
なあに？

自治体予算とは、その自治体における一定期間の収入と支出を見積ることです。自治体の収入（歳入）には、地域の人々や企業から預かった税金や国などから交付されるお金、施設使用料などがあり、支出（歳出）には、福祉、教育、土木など様々な行政サービスの提供に必要な経費があります。

自治体予算の種類

当初予算

本予算とも呼ばれ、年度が始める前に計画された当初の予算のことを指します。基本的にこの当初予算をもとに各事業は実施されます。

補正予算

予算が決定した後で、追加が必要となった場合に調整される予算のことです。

暫定予算

年度が始まるまでに予算が成立しない場合に、成立するまでに暫定的に編成される予算のことです。本予算が成立するまでのつなぎの予算を指します。

骨格予算

年間予算として必要最低限の支出だけを計上した予算のことです。人件費などの義務的経費を主体として計算されます。

肉付予算

新しい事業に充てる補正予算など、骨格予算のあとに追加される予算です。

岡山県町村議会議長会第76回定期総会

2月21日、岡山県市町村振興センターにおいて、岡山県町村議会議長会第76回定期総会が開催されました。

自治功労者等の報告が行われ、当町議会からは、杉本議長と光元議員が岡山県町村議会議長会表彰を受賞しました。

その他、会務報告、

決算認定及び事業計画案、予算案、決議など2認定2議案が協議され、すべて可決されました。



京都府福知山市にて視察研修

1月30日(木)に京都府福知山市で町議会の視察研修を実施しました。

視察では小学校跡地を利用した施設「むとべーす」(いちご農園やカフェ等を開設)について現地見学を行いました。



同市では多くの

廃校を活用しており、福知山市役所職員から活用までの経緯や活用事例、取り組みの現状について説明をいただき、有意義な研修になりました。

編集後記

令和7年3月議会定例会において、令和7年度の新年度予算が審議され、議会において可決いたしました。昨年は久米南町町制施行70周年を迎え、久米南町のさらなる持続可能なまちづくりを目指す節目の年となりました。

委員会では、長年継続的に審議してきた「議会活性化の取り組み」についても本格化しており、未来の久米南町議会のあり方について、変革を進めていかなければと身の引き締まる思いです。議会だよりについても皆さんからのご意見・ご感想等ございましたら、議会事務局までお伝えいただければと思います。

(立石祐一)

議会広報編集委員会

立石祐一 ・ 近藤賢司
小坂 守 ・ 河原重義

久米南町議会だより第89号 (令和7年5月15日発行)

【編集】議会広報編集委員会 【発行】岡山県久米南町議会
岡山県久米郡久米南町下弓削502-1 TEL 086-728-2112

